

にじのへやだより

病児保育室にじのへや

蕨市病児・病後児保育事業

令和3年9月発行

(vol.3)



朝晩は秋の気配を感じますが、日中はまだまだ残暑で汗ばむ毎日。お子さまだけでなく大人も体調管理が難しい季節ですよ。

例年9月は、「手足口病」や「ヘルパンギーナ」「RSウイルス」「アデノウイルス」が流行します。アデノウイルスに関しては、当園でお預かりすることができませんのでご了承ください。その他感染症の登園の可否については、お気軽にお問合せ下さい。

こまめな水分補給や衣服の調節などを行い、残暑を乗り切りましょう。



7月〈利用内訳（年齢別）〉34（名）登録者数 121（名）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	19	11	3	1	0	0	0

8月〈利用内訳（年齢別）〉23（名）登録者数 121（名）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	11	10	2	0	0	0	0

利用児童の疾患

- 1、上気道炎 24名
- 2、咽頭炎 20名
- 3、RSウイルス感染症 5名
- 4、喘息製気管支炎 5名
- 5、中耳炎 3名

今年度は、例年よりも早くRSウイルス感染症が流行しています。

RSウイルス感染症と診断されていないお子さまも、咳の症状があり長引いてしまうケースもありました。RSウイルス感染症は、悪化すると肺炎に繋がる場合もありますので、注意が必要です。

当園でお預かりしたお子さまの中には、咳で体力を消耗し疲れが出てる様子が見られたので、横になり十分に睡眠がとれるように見守りました。

にじのへやでは、現在一人一部屋で保育をさせて頂いておりますので、お子さまの体調に合わせて1日を過ごすことができます。

保育の様子☆

お家から大好きなおもちゃを持参☆
遊び慣れたおもちゃがあると安心しますね！



お子さまの体調に合わせてゆっくり午睡をすることができます。
どんな夢を見てるのかな？

ご飯の時間♪
無理せずゆっくり食べて様子を見ます。



みんな大好きアンパンマンのおもちゃにもう夢中！



RS ウイルス感染症について

RS ウイルス感染症は、例年夏頃から感染者が増加し冬にピークを迎える感染症ですが、今年は全国的に早い時期から流行しています。

感染者数は一昨年の同じ時期に比べ約 12 倍、感染が広がらなかった昨年と比べると 440 倍となっています。にじのへやでは、7月に3名のRS ウイルス感染症のお子さまをお預かりしました。

RS ウイルス感染症とは

RS ウイルスによって引き起こされる、乳幼児の代表的な呼吸器疾患。

生後 1 歳までにほぼ半数の子どもが感染し、2~3 歳までにほぼ全ての子どもが経験する。

初めて感染する乳幼児の約 7 割は数日のうちに軽快するが、約 3 割は咳が悪化し、喘鳴、呼吸困難症状等が出現する。

何度も感染するが、そのたびに免疫が強化され、症状は軽くなっていくことが多い。

潜伏期：2~8 日(通常 4~8 日)

感染経路:飛沫感染、接触感染。

予防するには…

うがい、手洗いをこまめに行う。

もしかかったら…

- ・早めに受診し、こじらせないようにする。
- ・嘔吐や下痢をくり返している時は、脱水症状を起こさない水分補給をこまめに行う。
- ・適度な室温と湿度をこころがける。
室温：夏季 24~27℃ 冬季 22~24℃
湿度：50~60% が目安

登園再開の目安

重篤な呼吸器症状が消え、
全身状態が良いこと

事前登録のお願い

にじのへやは、ご利用前に「登録」が必要です。

「登録」時に、にじのへやの利用方法のご説明や、必要書類の記入等をお願いしております。

「登録」はご利用日当日でも可能ですが、慌てないためにも、

「事前登録」をお勧めしています。

「事前登録」は随時受け付けています。お気軽にお問合せください。



ご予約・お問合せは…

病児保育のへや ☎048-280-6180
蕨市中央 3-19-8 富双ビル 1F

